

令和 4 年度 大学塾 第 3 ステージ 開催案内

元 NHK アナから学ぶ 話し方の改善とミニトレ



道を尋ねたらスマホの地図で教える、商品の説明はトリセツを渡される、就活の面接は AI が評価してくれるなどなど、大変便利な世の中になりましたが、人と人との会話は不足し、話し方も乱れています。そこで、長年「話し言葉」の研究や研修をされてきた岡部晃彦氏(元NHKアナウンサー)に、話し方の「分かりやすさ・優しさ・正しさ」の要点を、楽しいミニトレーニングを交えながらお話していただきます。

講師：岡部 晃彦 氏 (一財) NHK 放送研修センター日本語センター専門委員
第 1 回 12/1 もっと分かりやすい話し方をしたい
第 2 回 12/8 心優しい会話ができるようになりたい
第 3 回 12/15 日本語を正しく使いたい
会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 1

毎回 木曜日 全 3 回 午後 2 時～4 時

真に！魅惑的な日本文化 水墨画・円空仏・詩吟



雪舟(破墨山水図)

日本の伝統文化は世界の中で、ユニークなものがたくさんあり、今日世界的に評価され発信されてきています。数多くの日本文化の中から特異な平面芸術の水墨画・立体美術の円空仏・音声文化の詩吟を取り上げます。日本の世界文化遺産を俯瞰し、主として日本仏教のこころを焦点化し、これら三部門の実技論を含めその特徴と魅惑的な日本文化に迫ります。



円空仏(自刻像)

講師：鬼島 康宏 氏 元文化庁総務課長・元聖徳大学学長補佐(教職大学院教授)
第 1 回 12/3 水墨画(世界文化遺産から日本文化の原点を追って)
第 2 回 12/10 円空仏(日本人の信仰と仏像、生きる姿を観る)
第 3 回 12/17 詩吟(詩吟の固有性を聴く、精神的吟詠から歌謡へ)
会場：足立区生涯学習センター(学びピア 21 内) 5 階 研修室 1

毎回 土曜日 全 3 回 午後 2 時～4 時

令和4年度 大学塾 第3ステージ 開催報告

「歌舞伎入門講座Ⅱ」 ～カブキの楽しさ見つけよう～

10月5・12・19日(水)の3回にわたり、生涯学習センター研修室1にて開催された。講師は元歌舞伎座支配人の金田栄一氏、応募者は31名、受講者は28名、出席者は延べ80名だった。

第1回は「市川團十郎と歌舞伎十八番」、初代團十郎が偉大であったことと、七代目が「歌舞伎十八番」を制定し、歌舞伎界のリーダーシップを発揮した。歌舞伎十八番は初代・二代・四代が初演した荒事を中心に十八演目を制定したもので、中でも「暫」や「助六」は代々演じ続けられ、特に「勧進帳」はその代表である。海老蔵改め十三代團十郎白猿の襲名興行は、一昨年の5～7月に予定されていたが、コロナで興行中止となり、ようやく今年11～12月に行われることになった。



第2回は「歌舞伎外題の面白さ」、歌舞伎の演題を外題というが、外題は五文字・七文字が多く、作者はこの中で言葉遊びを楽しんだ。外題の面白さを3つに分けると、おなじみ編は「伽羅先代萩(めいぼくせんだいはぎ)」「時今也桔梗旗揚(ときはいまききょうのはたあげ)」等。中級編は「重重人重小町桜(じゅうにひとえこまちざくら)」「色彩間刈豆(いろもようちよっとなりまめ)」等。難読編は「西南雲晴朝東風(おきげのくもはらうあさごち)」「是珍聞猫根津美(これはちんぶんねことねずみ)」等。



第3回は「鎌倉殿と清盛公」、歌舞伎の舞台に頼朝や清盛公は登場しないが、せりふの中には「鎌倉殿」「鎌倉」「頼朝公」が登場する。実際は姿を見せない権力者として登場している。さらに大河ドラマ「鎌倉殿の13人」に登場する歌舞伎俳優と役どころが紹介された。



受講者の声：歌舞伎について何も分からなかったけれど、先生の話がとても分かりやすく面白いので、とても興味深かったです。・外題について理解するとますます楽しくなってきました。3回で終わりでは残念です。・写真や映像を駆使して飽きさせない内容で、何より講師の歌舞伎に対する情熱が伝わってきました。何年も劇場に足を運んでいなかったのですが、すっかり行きたくくなりました。等。

(糸井史郎)

あだちサークルフェア 2022 開催報告

「あだちサークルフェア 2022」は3年ぶりに10月8日(土)、9日(日)に足立区生涯学習センターにて開催されました。コロナ禍のため足立区主催のA-フェスタが中止となりましたが、あだちサークルフェアは一般客には呼びかけず、関係者のみでの開催となりました。展示三団体と舞台発表者とその関係者のみという制限のため来所者はあまりなく、少し寂しいサークルフェアとなりました。

「楽学の会」では5階 第5研修室でパネルと活動写真の展示を行い、楽学ニュースやチラシやパンフレットを用意してボラ活部を中心に延べ10人の要員で対応いたしました。来客者は8日が5人、9日が2人でした。(男性3人、女性4人)男性のお一人は講座づくりに興味があり、どのようにやっているのか質問され、お手伝いできるようならと嬉しいお話がありました。早速メルマガ登録をして頂き、近日中の講座ボランティアへの参加をお願いいたしました。その後、お手伝いをしたいと入会されました。また、「ピア・ナビ」の編集ボランティアを行っている女性の方もお見えになり、どんな講座なのかなどの質問がありました。車いすの男性もおいでになり、講座を受けたいが車いすで躊躇するとのことでした。座学では全く心配ないので是非受講してほしいと案内し、今後の講座チラシをお渡ししました。今回のサークルフェアは来客者が少なかった中で、入会者が居られたことは大きな収穫でした。2日間、要員をして頂いた皆様お疲れさまでした。

(ボランティア活動推進部)



みんなの広場

『旧版 gakugaku ホームページ立ち上げとその後の経緯』

- ① 平成18年8月、西新井でHPの講習会(4回)があり、江川・田中・神戸が受講した。講師は当会会員の喜多村雅夫・白根貴代美さん。当時の代表は早坂津夜子さんだった。H17年に染野絢子さんが作ったHPがあったが、ほんの入門編だった。
- ② 9月からHPの企画会議が始まり、神戸宅で毎月2回以上検討会を開いた。メンバーは喜多村・田中(匡)・神戸。アプリはHPビルダー・クラシックを使い、Html言語は補助とした。全体の構成=階層の設計は喜多村、掲載内容は田中、デザインは神戸が担当した。なおデザインは、PhotoshopとIllustratorを使った手作り=オリジナルで、テンプレートは使っていない。素人が途方もない事をしたと後悔している。
- ③ 12月は毎年深夜まで作業した。特に前日は紅白歌合戦の音を聴きながら三人で奮闘した。H19年1月1日午前0時に公開、運用を開始した。(上図は第一回のトップ画面)
- ④ 初めからSEO対策をした。Google検索ではアクセス数・更新回数・被リンク数などで評価されるので検索最適化に注力した。半年後に、アクセス数のカウンターを設置した。当時毎月200件程度だった。但しNetでは広告料稼ぎの水増し表示が問題化したので3年程で取り外した。
- ⑤ レンタルサーバは最安価のロリポップにしたので、アドバイスなど一切なし。頁を全く表示しないトラブルなどエラーが何回かあったが、自分達で解決した。
- ⑥ 会のロゴマークについて書道家の作者から「筆書きの滲みと掠れが出ていない」と苦情があり、デジタル化の得失を説明しに行った。大汗…その後、平成26年、担当が田中さんから金子さんに交代、毎月拙宅で夜遅くまで確認作業を行なった。
- ⑦ H28年、データと作業の簡素化目的でリニューアル。改造に3か月掛かった。見た目は変わらないが、掲載内容と表示を制限してデータ量と作業の軽量化をした。同軽量化のため、染野さんのお勧めアプリJIMDOを検討したが、結果的に不採用。
- 令和4年、古性さんがgakugaku2を立上げ新規講座の案内など新しい感覚のHPを運用中、旧版gakugakuは講座の開催報告など古い資料をアーカイブ運用を続ける。



(広報G HP担当 神戸 明)

現地学習 “足立姫伝説をめぐる街歩き”

10月の月例会は11月の講座の下見を兼ねて「足立姫伝説を巡る街歩き」を行いました。
10月21日、秋晴れの中9人のメンバーで10時30分頃から史跡見学しながら歩きだしました。



1カ所目は、「性翁寺」、本堂に上がり「足立姫」の位牌などを見ながら、足立姫の悲しい物語を糸井さんに説明してもらいました。嫁いだ足立姫が婚家からそしりを受け、里帰りの際に12人の侍女たちと荒川に入水して命を絶ってしまいました。

悲しみのあまり霊場巡りに出た父が旅先で流した熊野の霊木が国元の熊野木に漂着し、諸国行脚中の行基がその霊木から六体の阿弥陀仏を彫刻しました。その余り木からもう一体を彫ったものが性翁寺に伝わる木余如来だということです。「性翁寺」には足立姫のお墓があり、その後ろの小さな社に板碑がありました。墓の近くに伝説にちなんで後日植えられた菩提樹もありました。

2カ所目は、足立姫が合祀されている「宮城氷川神社」でした。江北橋を渡るために五色桜の木が植えてある荒川土手に上がり、金子さんに「あだち五色桜」の移植の話を聞きながら土手から荒川を眺めて歩きました。「宮城氷川神社」の隣が会員の原田さんのお家で、原田さんが出て来てくださりしばし歓談しました。

近くの足立区登録有形民俗文化財である「小台の七庚申」も見ることができました。2カ所目で12時を過ぎてしまい、空腹をかかえながらも皆さん黙々と江北橋を戻り次の見学場所に向かいました。

3カ所目は、六阿弥陀第2番の「恵明寺」、足立姫の霊を弔うために熊野の霊木から作られた阿弥陀如来があるお寺です。本堂には入れませんでしたが、大木の枝垂れ桜と区の保存樹木になっている大銀杏の木がある境内で一休みしました。

その後、4カ所目の「熊ノ木橋・熊ノ木塚」、五色堤公園などを巡り土手下のバス停からバスに乗り西新井駅に向かいました。江戸時代には、六阿弥陀詣が流行したそうです。伝説が「嫁いびり」であることから、女人救済の阿弥陀さまとして特に女性の間で流行しました。大正頃までは続いたようですが、六阿弥陀が4区にまたがっていることや、阿弥陀さまが祀られている寺の宗派が異なることなどから、六阿弥陀詣はすたれていったようです。2時間半余り、1万歩を超える歩きでしたがみなさん無事に歩き通し、西新井駅近くの中華店にたどり着きました。冷たい飲み物でお疲れさまと乾杯し、遅めのランチを皆さんで頂きました。

久しぶりに屋外に出た月例会は気持ちの良い快晴に恵まれ、普段の運動不足を少し補えたことと思います。糸井さん、長時間の誘導と案内、説明ありがとうございました。

(ボランティア活動推進部)

令和4年10月運営委員会 報告・連絡

代表挨拶：報告および提案

朝夕涼しくなり過ごしやすくなりました。コロナも大分落ち着いてきたようです。コロナもさることながらインフルエンザの季節となりました。ご注意頂きたいと思います。

(1). あだち区民大学塾について

9月は2講座開催されました、いずれも令和3年度に企画、コロナで中止となった講座です。

- ① 江戸庶民と武士の暮らし入門講座 47名の方に受講いただきました。
- ② 江戸のヒロイン～歴史をつくった女性たち～ 113名の方に受講いただきました。運営スタッフも14名の会員が集まっておりました。ありがとうございました。受講者にはほーりーさんのSNSやツイッターで呼びかけられた、ほーりーファン14名がメールで申し込みをいただきました。10月も2講座が開催されます。
- ③ 歌舞伎入門講座Ⅱ=29名（ハガキ18名、メール11名）に受講券を発行しました。
- ④ 印象派の絵画を楽しむ=53名（ハガキ22名、メール31名）に受講券を発行しました。

(2). 月例会開催について

10月の月例会は大学塾講座の現地学習に先立ち、会員の街歩きを予定しています。開催日は10月21日（金）足立姫伝説をめぐる街歩き、皆様の積極的な参加をお願いします。

(3). あだちサークルフェア2022の開催について

開催日：10月8日（土）、9日（日）開催

(4). 事務局当番の件

10月・11月の事務局当番のお願い

議 事

(1). 情報交換

・「NPO支援センター」からの案内

(2). あだち区民大学塾（検討会議・企画会議・地域協働講座）

「江戸庶民と武士」	応募者	53名	大沢正明講師	9/9, 17, 24	受講者	47名
「江戸のヒロイン」	応募者	126名	堀口茉純講師	9/23	受講者	113名
「歌舞伎入門講座Ⅱ」	応募者	18(11)名	金田 栄一講師	10/5, 12, 19		
「印象派の絵画」	応募者	22(31)名	島田 紀夫講師	10/16, 23, 30		

(3). 月例会開催について

・10月月例会 10/21(金) AM9時50分 現地学習「足立姫伝説」をめぐる街歩き

(4). 各部局・PTからの報告および提案

- ① 学習支援部 10/18 部会
- ② ボランティア活動推進部 10/11 部会
- ③ 事務局 10/4 部会及びニュース発送
- ④ 受託事業グループ なし
- ⑤ 広報グループ ニュース 288号の発行

(5). その他

- ・受託事業はR4年度具体案ナシ。スタッフ不足
- ・会の運営方針等再検討が必要、新会員募集方法等
- ・「社会教育」10月号 ロッカーに保管
- ・その他 ご案内・回覧（運営スタッフ募集、等）

次回運営委員会 11月1日（火） 14：30から（研4）

◎講座名:世界が注目する「昆虫食」 その魅力と可能性を探る

日 時：12/11（日）午後2時～3時30分
 対 象：16歳以上の方
 会 場：5階 研修室1
 受講料：970円
 定 員：40人（事前申込先着順）
 講 師：水野 壮 氏（NPO 法人食用昆虫科学
 研究会 副理事長）
 内 容：将来の食糧問題や脱炭素社会の提唱から、様々なものが実用化されたり、実用化に向けて試行錯誤しています。今回は、昔から食べられてきていて食用実績があり、注目を浴びている「昆虫食」について、学んでいきます。昆虫食とはどんなものなのか、日本や世界での取り組み、今後の展開について学びます。

◎講座名:食べて肥満や糖尿病を予防！ ファイトケミカルの力

日 時：12/18（日）午後1時30分～3時
 対 象：16歳以上の方
 会 場：5階 研修室1
 受講料：800円（一律、講座当日にお支払い）
 定 員：30人（事前申込先着順）
 講 師：高橋 信之 氏（東京農業大学 応用生
 物科学部 教授）
 内 容：野菜や果物といった植物がもつ化学成分「ファイトケミカル」について、その機能や有効性、そして日々の食事への取り入れ方を学びます。ファイトケミカルとは何か、成分と健康増進との関わり、疾患への有効性、取り入れ方、今後の展望について学びます。

お申込みは：電話(03-5813-3730) 又は直接窓口
 インターネット [近所 de まなびナビ] で検索
 イベント・講座情報→講座予約システム

令和4年11月「月例会」のご案内

日 時：11月16日（水）午後3時～5時
 場 所：生涯学習センター5階 研修室4
 テーマ：会の活動を考えるフリートーキング

令和4年12月「月例会」のご案内

日 時：12月19日（月）午後5時～
 場 所：生涯学習センター5階 研修室4
 テーマ：忘年会 レストラン「さくら」7階

（詳細は、別途ご案内いたします）
 ＊皆様の積極的な参加をお待ちしています。
 （ボランティア活動推進部）

- ◎ 運営委員会
11月1日（火）午後2時半～4時 研修室4
- ◎ 月例会
11月16日（水）午後3時～5時 ワークルーム
- ◎ 学習支援部
11月16日（水）午後1時～2時 ワークルーム
- ◎ ボランティア活動推進部
11月9日（水）午後2時～4時 ワークルーム
- ◎ 事務局
11月2日（水）午後2時～4時 ニュース発送
- ◎ 広報グループ
メール会議
- ◎ 大学塾講座検討会議
11月16日（水）午後2時～3時 研修室4
- ◎ 大学塾講座企画会議
11月1日（火）午後1時半～2時半 研修室4
- ◎ 生涯学習センター 休館日
11月14日（月）

★お問い合わせ＆ご意見

- ◎ 「楽学の会」の運営に関するお問合せ
 事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
 E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp



足立区・舎人公園

編集後記

“大量生産・大量廃棄”から 「循環型ファッション」の時代へ

ファッション業界は好景気を背景に大量の衣服を供給し、消費者の旺盛な購買意欲と廃棄を促してきた。大量消費や破棄を前提としたビジネスは、今、環境や社会問題の解決を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の達成が重視される中、業界への批判も強くなっている。前回記事「衣類の墓場」でも触れましたが、2020年に国内で供給された衣類81.9万トンの内、廃棄されるのは51万トン、再利用や再資源化されるのは27.7万トンです。世界では、衣服に使用されている繊維量は年間5,300万トン、その内73%がごみとして処分され衣服としてリサイクルされているのは1%未満です。大量生産・大量廃棄への批判が高まり、環境を無視した業界の在り方も問われています。

ー再生への取り組みー

土に還る木の皮や天然素材、ペットボトルから作った再生ポリエステル、再生素材によるニットの服「CFCL」、リサイクルコットンなど、環境にやさしい素材を使用した再生や新素材の開発・研究、不要になった衣服の回収など、廃棄される衣服を減らすための「循環型ファッション」時代に向けて、消費者の意識改革も欠かせないが、行政や企業などが一体になり取り組むことが急務と言える。

(金子 記)